

# 楽天USリート・トリプルエンジン (トルコリラ)毎月分配型

追加型投信/海外/不動産投信

## 交付運用報告書

(作成対象期間 2018年4月24日～2018年10月22日)

第78期(決算日 2018年5月22日) 第81期(決算日 2018年 8月22日)  
第79期(決算日 2018年6月22日) 第82期(決算日 2018年 9月25日)  
第80期(決算日 2018年7月23日) 第83期(決算日 2018年10月22日)

当作成期末	
基準価額	2,735円
純資産総額	844百万円
騰落率	△9.2%
分配金合計	240円

(注)騰落率は分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### 受益者の皆様へ

平素は当ファンドにご投資いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび上記決算を行いました。当ファンドは、主として米国リートETFならびに対円貨でのトルコリラのパフォーマンスを反映するユーロ円債(リート連動債)に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 楽天投信投資顧問株式会社

<http://www.rakuten-toushin.co.jp/>

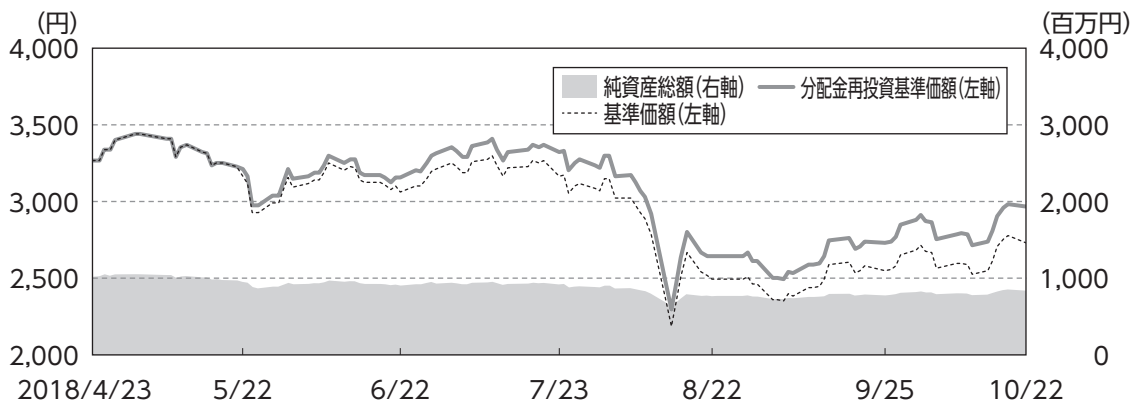
東京都世田谷区玉川一丁目14番1号  
本資料(交付運用報告書)の記載内容のお問い合わせ先  
TEL: 03-6432-7746  
受付時間: 営業日の午前9時から午後5時まで  
※お客様のお取引内容等につきましては販売会社にお問い合わせください。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。  
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記ホームページアドレスにアクセス  
⇒「基準価額一覧」から当該ファンドを選択  
⇒「運用報告書(全体版)」を選択し、閲覧およびダウンロード
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

**Rakuten** 楽天投信投資顧問

# 運用経過の説明

## 1 基準価額等の推移



第78期首：3,270円

第83期末：2,735円 (既払分配金240円)

騰落率：△9.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

## 2 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として米国の不動産投資信託指数に連動する上場投資信託(米国リートETF)の投資信託証券ならびに対円でのトルコリラのパフォーマンスを反映するユーロ円債(リート連動債)に投資しており、リート連動債の価格変動が基準価額の主な変動要因となります。リート連動債の主な価格変動要因は、米国リート、トルコリラ/円、米ドル/円の各相場変動となります。

当作成期間においては、米国リートの上昇や米ドル高/円安がプラス寄与となったものの、トルコリラの対円での大幅な下落がそれを上回るかたちでマイナスに寄与し、基準価額を押し下げました。

### 3 1万口当たりの費用明細

項 目	当作成期		項 目 の 概 要
	2018年4月24日~2018年10月22日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	22円 (11) (10) (1)	0.734% (0.367) (0.334) (0.033)	(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は2,997円です。 ・委託した資金の運用の対価 ・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 ・運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	(b) 売買委託手数料= $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	-	-	(c) 有価証券取引税= $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	5 (2) (1) (2) (0)	0.167 (0.067) (0.033) (0.067) (0.000)	(d) その他費用= $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・印刷費用は、有価証券届出書、目論見書、運用報告書等の作成、印刷および提出等に係る費用 ・その他は、金銭信託への預入金額に対する手数料等
合 計	27	0.901	

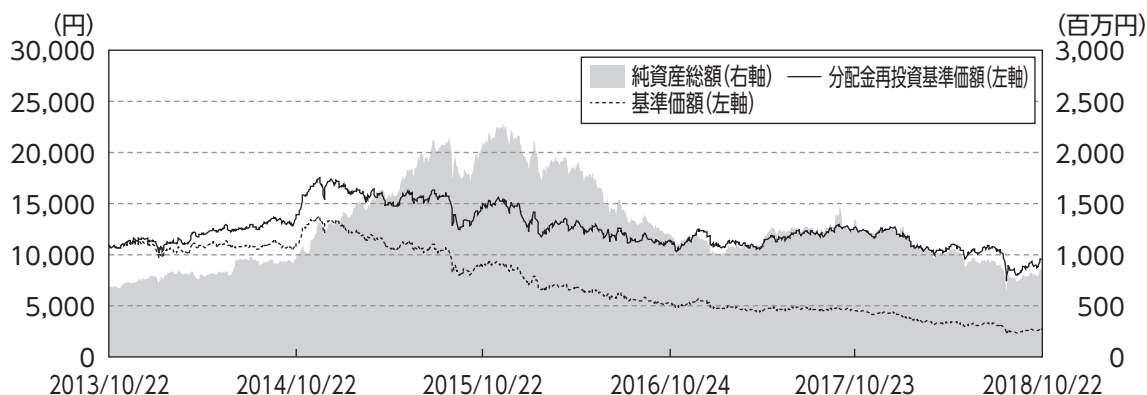
(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

#### 4 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年10月22日～2018年10月22日)



		2013年10月22日 決算日	2014年10月22日 決算日	2015年10月22日 決算日	2016年10月24日 決算日	2017年10月23日 決算日	2018年10月22日 決算日
基準価額	(円)	10,892	10,832	8,895	5,192	4,577	2,735
期間分配金合計(税込)	(円)	—	2,400	3,000	1,890	1,200	790
分配金再投資基準価額騰落率	(%)	—	24.1	8.0	△23.1	13.3	△25.0
純資産総額	(百万円)	690	952	2,027	1,184	1,337	844

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドの運用方針に対応する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

(注4) 分配金再投資基準価額は、2013年10月22日の基準価額を起点として指数化しています。

## 5 投資環境

### ●米国リート市場

当作成期間の米国リート市場は、前作成期末比で上昇しました。

当作成期初から8月末頃までは、米国の長期金利の落ち着きに加え、良好な企業決算を背景に米国株式が上昇基調を維持したことなどを背景に、米国リート市場も堅調な展開となりました。9月以降は米長期金利が上昇に転じたことや<sup>(※)</sup>、高値警戒感から米国株式が調整色を強めたことなどが米国リート市場の重石となり、8月までの上昇幅を縮小する展開となりました。セクター別ではヘルスケアや小売関連のリートなどが大きく上昇した一方、ホテル・リートは下落しました。

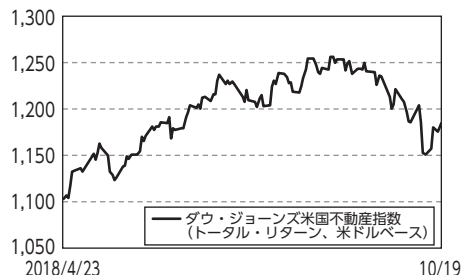
※米国リート市場の参加者には利回り重視の投資家が多く、米長期金利の水準はリートの配当利回りと比較され、リートの相対的な投資妙味を判断する重要な材料となっています。長期金利の上昇は通常、リートの利回り面での相対的な魅力を低下させる要因として、逆に長期金利の低下はリートの利回り面での相対的な魅力を向上させる要因として、それぞれ認識される傾向があります。

### ●為替市場

#### トルコリラ/円相場

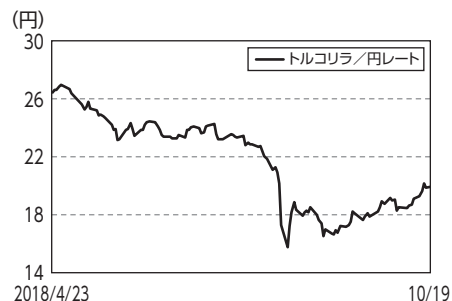
当作成期間のトルコリラは、対円、対米ドルともに大きく下落しました。

トルコリラは当作成期初から5月下旬にかけてまとまって下落したほか、8月前半にも急落しました。過大な経常収支赤字や高止まりするインフレ率、高い外貨建債務への依存といったトルコの脆弱な経済ファンダメンタルズが広く投資家の懸念材料となっていることに加え、金融政策に介入する姿勢を崩さない政権運営に対する不信も強まるなか、5月下旬はこうした悪材料が表面化する格好でトルコリラの下落が進みました。その後、トルコ中央銀行の緊急利上げによってトルコリラは一旦下げ止まったものの、8月には、2016年のクーデター未遂事件に関連して拘束されている米国人牧師の問題を巡って、米国が制裁措置の一環としてトルコに対するアルミ・鉄鋼関税の引き上げを表明したことをきっかけに、トルコリラ売りが再び急加速しました。しかし、トルコリラ急落を受けたトルコ中央銀行が9月13日



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

に市場予想を上回る利上げを実施したことをきっかけにトルコリラは反転し、作成期末にかけては上昇基調が続きました。

## 米ドル／円相場

当作成期間の米ドル／円相場は、期を通して米ドル高／円安基調となりました。

イタリアやスペインの政局不安やトルコ市場の混乱などの地政学リスク、米中貿易摩擦などに注目が集まる局面では、リスク回避的な円買いの動きから一時的に米ドル安／円高に振れる動きが見られましたが、好調な経済指標や企業業績を背景に米国が利上げを継続し、日米の金利差拡大が意識されやすい環境が続いたことから、概ね米ドル高／円安基調が維持されました。



(出所)ブルームバーグのデータ等を基に楽天投信投資顧問にて作成

※ファンドの基準価額への反映を考慮し、作成期間を1営業日前にずらして作成しております。

## 6 当ファンドのポートフォリオ

追加設定・一部解約による資金フローを鑑みながら、リート連動債のパフォーマンスを享受すべく、同債券の組入比率を高位に維持するよう運用を行いました。

## 7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 8 分配金

分配金額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定しました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、投資信託財産内に留保し、運用の基本方針にもとづいて運用いたします。

(1万口当たり・税込)

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2018年4月24日~ 2018年5月22日	2018年5月23日~ 2018年6月22日	2018年6月23日~ 2018年7月23日	2018年7月24日~ 2018年8月22日	2018年8月23日~ 2018年9月25日	2018年9月26日~ 2018年10月22日
当期分配金 (円)	50	50	50	30	30	30
(対基準価額比率) (%)	(1.6)	(1.6)	(1.6)	(1.2)	(1.2)	(1.1)
当期の収益 (円)	50	50	50	30	30	30
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	5,318	5,454	5,602	5,778	5,780	5,784

(注1)「対基準価額比率」は「当期分配金」の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)「当期の収益」は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、「当期の収益以外」は収益調整金および分配準備積立金です。

(注3)「当期の収益」および「当期の収益以外」は、円未満を切捨てて表示しているため、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドでは、引き続きリート連動債の組入れ比率を高位に保ちながら、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいります。

## お知らせ

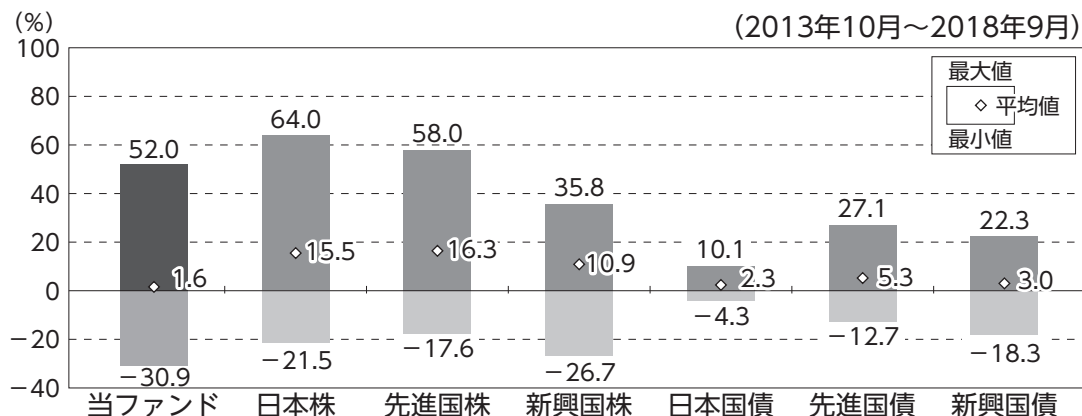
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年11月15日から2021年10月22日まで
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	特定のユーロ円債を主要投資対象とします。
運用方法	①主として、米国の不動産投資信託指数に連動する上場投資信託の投資信託証券ならびに対円貨でのトルコリラのパフォーマンスを反映するユーロ円債に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。 ②ユーロ円債の組入れ比率は、原則として高位を保つことを基本とします。 ③外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。 収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 収益分配に充てなかった留保益の運用については特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。



## ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(注1)当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したもので、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2)当ファンドの年間騰落率は、分配金再投資基準価額に基づいて計算した騰落率であり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3)すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの騰落率は以下の各指数の騰落率です。

日本株：S&P日本総合指数(トータル・リターン、円ベース)

先進国株：S&P先進国総合指数(除く日本、トータル・リターン、円換算ベース)

新興国株：S&P新興国総合指数(トータル・リターン、円換算ベース)

日本国債：FTSE日本国債インデックス(円ベース)

先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)

新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円換算ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、米ドルベースの各指数を楽天投信投資顧問が円換算しております。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

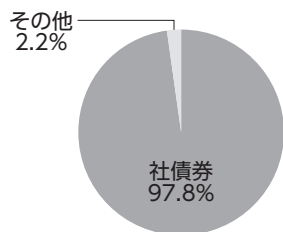
# 当ファンドのデータ

## 1 当ファンドの組入資産の内容

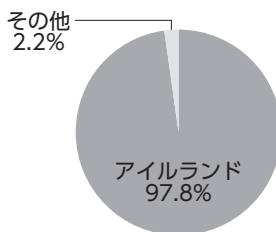
### ■組入銘柄等

	当作成期末
STAR Helios plc JPY Notes linked to U.S. REIT Covered Call Strategy 9 April 2021	97.8%
その他	2.2%
組入銘柄数	1

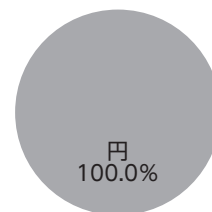
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)国別配分につきましては発行国を表示しております。

## 2 純資産等

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	2018年5月22日	2018年6月22日	2018年7月23日	2018年8月22日	2018年9月25日	2018年10月22日
純 資 産 総 額	959,048,041円	911,308,672円	926,187,768円	772,579,928円	782,402,923円	844,968,676円
受 益 権 総 口 数	3,027,833,780口	2,973,598,839口	2,919,127,979口	3,097,392,950口	3,069,953,036口	3,089,260,168口
1万口当たり基準価額	3,167円	3,065円	3,173円	2,494円	2,549円	2,735円

※期中における追加設定元本額は837,863,927円、同解約元本額は885,536,893円です。